

国語について

■小学校国語

- 図に表された情報と情報の関係を理解している。
- 物語を読んで、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
- ▼ 漢字を文の中で正しく使う力が不足している。
- ▼ 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を考える力が不足している。

■中学校国語

- 具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。
- 行書の特徴を理解している。
- ▼ 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する力が不足している。
- ▼ 目的に応じて必要な情報に着目して要約する力が不足している。

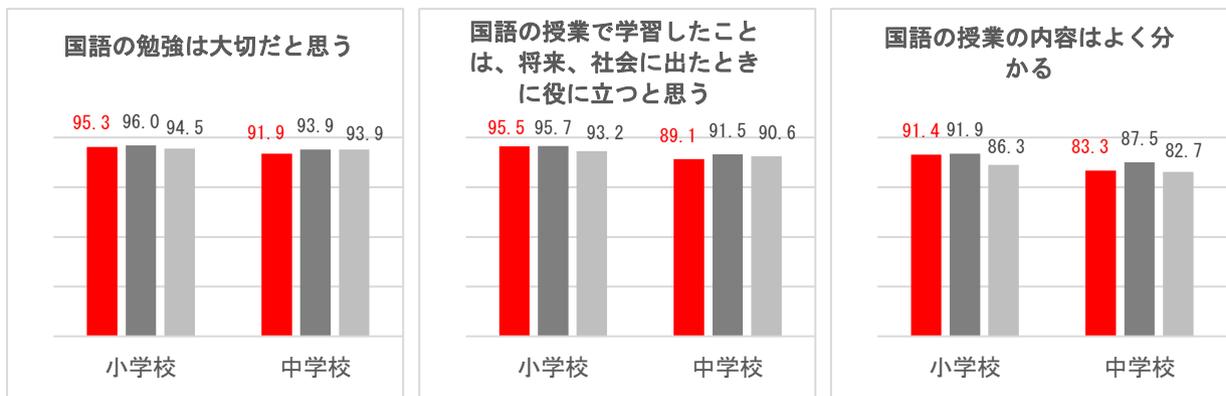
●《優れている要因として》

小中学生とも国語の授業に意欲的に取り組んでおり、授業内容もよく理解しています。

アドバイス

国語の授業以外でも、新聞を読んだり読書をしたりして、いろいろな文章を読んでみましょう。感想や分かったことなどを友達や家族と伝え合うとさらに理解が深まります。

■鯖江市 ■福井県（公立） ■全国（公立） 数値は%



▼《今後の課題》

小中とも、目的や意図に応じて必要な情報を取捨選択し、要約したり伝え合ったりすることに課題が見られます。

アドバイス

調べたことや分かったことをメモに整理し、そのメモを生かしながら、目的や意図に応じて話す内容を考えたり、話し方を工夫したりしてみましょう。その際、ICTの活用も有効です。また、伝えたい内容が相手に伝わっているかを、自己評価や相互評価を通して振り返ってみましょう。

算数・数学について

■小学校算数

- 問題場面の数量の関係を捉え、未知の数量を表す□などの記号を用いて、式に表すことができる。
- 円グラフの特徴を理解し割合を読み取ったり、表から必要なデータを収集し観点に着目して分類整理したりすることができる。
- ▼ 図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考え、式に表す力が不足している。
- ▼ 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察したり、道のりが等しいことを基に、時間と速さの関係について考察し、表現したりする力が不足している。

■中学校数学

- 数に関する事象を考察する場面において、その特徴を的確に捉えたり、事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考え、説明したりすることができる。
- 与えられたデータから最頻値を求めることができる。
- ▼ 事象の中にある数量関係を見だし、問題解決の方法を数学的に説明する力が不足している。
- ▼ 図形の性質を考察する場面において、事柄が成り立つ理由を筋道を立てて数学的に説明したり、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだしたりする力が不足している。

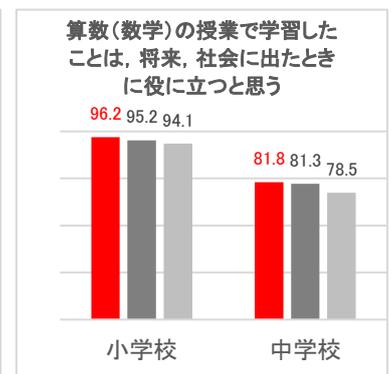
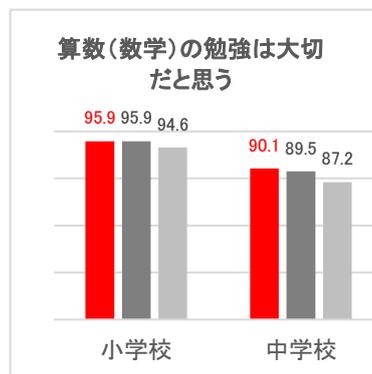
●《優れている要因として》

小中学生ともに算数（数学）の勉強は大切であると考えており、授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと考えています。

アドバイス

日常生活を絡めながら、用語の意味や内容を十分に理解し、活用することが大切です。また、小学校段階からデータを言葉と数を使って表現する力を身に付けていきましょう。

■鯖江市 ■福井県（公立） ■全国（公立） 数値は%



▼《今後の課題》

図形を構成する要素などに着目して図形の構成の仕方や性質について考察することや、問題解決の際に筋道を立てて考えたり、その過程や結果を振り返って考察したりすることに課題が見られます。

アドバイス

図形や単位量当たりの大きさ（速さなど）についての公式は、その意味まで深く理解することが大切です。また、図や表、グラフのよさを理解し、見通しをもって問題解決することも大切です。例えば、問題場面を表した図をもとに立式できたら、その式になる理由を自分の言葉で説明してみましょう。さらに、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな気づきを見つけることにも挑戦してみましょう。

